※令和４年度以降入学生用

学校番号	106

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	美術Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「高校生の美術２」　（日本文教出版）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

一年次に学んだ基礎技術と知識を活かしてより広い表現技術を得ることを目標とする。多様な表現の方法を知り、様々な素材を扱う学習活動を通して、豊かな表現力と鑑賞の能力を高める。
鑑賞活動を通して、他者の作品の持つ意味を深く理解し、感性と美意識を高め鑑賞する能力を豊かにする。

2　学習の到達目標

美術の創造的な諸活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を深め、生活や社会の中の美術や美術文化と深くかかわる資質・能力を次の通り育成することを目指す。

⑴　対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表現することができるようにする。

⑵　造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し個性豊かに発想し構想を練ったり、自己の価値観を高めて美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。

⑶　主体的に美術の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情をはぐくむとともに、感性と美意識を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 ・意図に応じて表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表現することができる	・造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し個性豊かに発想し構想している。 ・自己の価値観を高めて美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	・主体的に美術の創造的な諸活動に取り組もうとしている。 ・生涯にわたり美術を愛好する心情をはぐくみ、感性と美意識を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養うことができる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

※令和４年度以降入学生用

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	色の効果を踏まえたデザイン	【鑑賞】 【デザイン】 ・多様な表現方法を学び、自身の選んだ本の表紙を表現する方法を学ぶ。 ・道具を正しく使用することができ、色彩表現豊かに色面を、美しく着色する。 ・他者の作品を鑑賞し、作者の特徴を読み取り理解する。	a:本の内容を反映したデザインの様々な表現方法を知り、色彩や構図の重要性について理解することができる。（知） a:道具を正しく使用し、溝引きなどを用いることで、色面を美しく創造的に彩色することができる。（技） a:デザインのもたらす効果と、色彩の組み合わせによっておこる反応について正しく理解することができる。（知・鑑） b:自身を表現する方法について個性豊かに発想し構想を練ることができる。（思） b:他者の作品を鑑賞し、他者の作品の持つ特徴について考察して理解することができる。(思・鑑) c:積極的に講評に参加して、様々な表現方法を知り、学んだことをワークシートに詳細に書くことができる。（態） c:主体的に表現活動に取り組み、講評では自身の作品をプレゼンすることができる。(態・鑑)	アイデアスケッチ 作品 ワークシート	作品 ワークシート	ワークシート 観察

※令和４年度以降入学生用

2学期	人物画	【鑑賞】【絵画】 ・主に人物の描かれた絵画を鑑賞し、作者の意図や表現を読み解くとともに、自身で表現する方法を考える。 ・絵画表現の方法を学ぶ。 ・人物のスケッチやデッサンを行い画面構成を学ぶ。 他者の作品と比較し相手の心情も読み解く力をつける。	a:主に近代以前の絵画について学び、当時の時代背景や、作者の表現するものについて関心を持って考察し、自己解釈することができる。（知） a:意図に応じて表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表現することができる（技） a:絵画の世界観に対して、様々な解釈があることを知り理解を深めている。（知・鑑） b:絵画に表されている世界観を自己解釈し、そこから主題を独創的に生成することができる。（思） b: 他者の作品を鑑賞し、他者の作品の持つ特徴について考察して理解することができる。（思・鑑） c: 積極的に講評に参加して、様々な表現方法を知り、学んだことをワークシートに詳細に書くことができる。（態） c:主体的に表現活動に取り組み、講評では自身の作品をプレゼンすることができる。(態・鑑)	アイデアスケッチ 作品 ワークシート	作品 ワークシート	ワークシート 観察

※令和４年度以降入学生用

3学期	仮面	【鑑賞】【彫刻】 冬休み課題で「自らの没入体験」をいくつか挙げ、他者にもその没入を促すための仮面を制作する。 アイデアスケッチを行い、要素を絞り強調、拡大した形について考察する。 ・立体物を構想する力を身に着ける。 ・様々な素材や道具を使用し、立体物を制作する方法を学ぶ。 ・他者の作品を鑑賞し、自身の感覚の形と他者の感覚の形の違いについて考察する。	a:様々な仮面の形式を学び、踏まえて自身のプランに重要な要素を抽出、協調、拡大し描く。（知） a:日常生活から選んだ素材を、改めて没入するための素材として扱うことで脱構築を学ぶ。（知・技・思） a:素材の特性を理解し、独創的な形を表現することができ、状況に応じて道具を正しく使用することができる。（技） a:他者の作品を鑑賞し、自身の感覚の形との違いについて考察することができる。（知・鑑） b:表現の意図と創造的な工夫を素材の特性を理解し、考察することができる。（思） b:感覚の形を単純な具体物としてとらえるのではなく、抽象的な形や、言葉にできない形を表現するために、自身の感覚の形を客観的にとらえることができている。（思・鑑） c: 積極的に講評に参加して、様々な表現方法を知り、学んだことをワークシートに詳細に書くことができる。（態） c:主体的に表現活動に取り組み、講評では自身の作品をプレゼンすることができる。（態・鑑）	アイデアスケッチ 作品 ワークシート	ワークシート 作品	ワークシート 観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度